



7月号

向台

平成28年7月1日

中野区立向台小学校

言葉には力がある

副校長 松井 貴子

夏に向かって、緑がまぶしい季節になりました。樹木は太陽に向かって勢いよく成長していくものです。私たち人間は、何に向かって成長しているのでしょうか。人間は、自分の夢や目標に向かって成長していくものだと思います。では、夢や目標を意識するようになったのは、いつの頃からでしょうか。人によってそのスタートは様々なのかもしれません。

先日、シンクロナイズドスイミングのオリンピック、石黒由美子さんのご講演を聴く機会がありました。石黒さんは小学2年生の時、顔面を540針縫うという大変な交通事故にあったそうです。その時取り組んだのが、自分の夢や願いを「夢ノート」に書き綴ることだったそうです。そして、叶った夢は、「ありがとうございました」の言葉をそえ、赤い線で消すのだそうです。入院中に「シンクロでオリンピックにでる！」と書いたそうです。それから、その夢は、「絶対、由美ちゃんは大丈夫。」と応援してくださる母の愛に助けられ、自分の確かな目標となり、人の何倍も努力したそうです。結果、北京オリンピックの日本代表という夢の実現を果たしたそうです。言葉にすることで、夢の形がイメージでき、やるべきことがはっきりしたのだと話しておられました。

さて、もうすぐ七夕です。日本では、七夕の短冊に願い事を書く風習があります。江戸時代に寺子屋で学んでいた寺子たちが短冊に願い事を書き、笹に下げたのが始まりだそうです。夏空を眺めながら、願い事や夢を書いてみてはいかがでしょうか。もちろん笹飾りの短冊でも、石黒さんのような「夢ノート」でもいいと思います。言葉には力があります。子どもたちと一緒に「言葉」を大切に、お互いの夢を応援し、自己実現を図れるような力をぐんぐん伸ばしていきたいです。

7月の生活目標

○誰にでも親切にしよう

- ・友達を大切にしよう
- ・いろいろな友達と仲良く遊ぼう